

## もの言う牧師のエッセー 第37話

## 「イチロー電撃移籍」

2012年7月23日午後4時、シアトル・マリナーズは地元セーフコ・フィールドで会見を行い、イチロー外野手がトレードで Yankees に移籍したと電撃発表し、日米両国を驚かせた。と、驚く間もなく3時間後にはイチロー選手は Yankees のユニフォームを着てプレーしているではないか！ しかも対戦相手はマリナーズでこれまたビックリ！ よく見ると背番号は31でまたまたビックリ！

まだある。移籍先の Yankees のキャッシュマン GM によると、Yankees 側は交渉過程においてイチロー側に守備位置の変更、下位打線での起用、左腕との対戦では控えに回る可能性、の厳しい3条件を伝えたが、「イチローは全てを受け入れた」というのだ。

まさに“スター特権剥奪”の観があるが、意外にもこのトレードはイチロー自ら球団に申し入れていた上に、新背番号31番も自ら選択したという。その理由は、本人の契約の最終年であることや、昨年からの打撃不振、チームメイトの年齢が20代前半が多数を占め、マリナーズの若返りが進行していること、筆頭オーナー任天堂の赤字問題、など色々ある。

なるほど周囲には突然であり驚きに見える今回の決断も、聡明な彼にとっては前々から熟慮していたことなのだ。これを見てキリストが登場する400年前に書かれた、聖書の言葉

**「あなたがたが尋ね求めている主が、突然、その神殿に来る。」**

**あなたがたが望んでいる契約の使者が、見よ、来ている。」マラキ書3章1節**

を思い出した。“突然”と書かれているがイエスの登場は預言されていたのだ。しかし人類は全く留意せず、その事実が“突然”で“驚き”になってしまった。災害も離婚も倒産も大抵の場合“突然”だが、神からいただく聡明さがあれば“突然”ではなくなる。

2012-7-26



